

# 令和3年度 第1回 介護・医療連携推進会議 記録

## ● 事業所情報

法人名	社会福祉法人くらしのハーモニー
事業所	24時間サポートくらしのハーモニー

## ● 開催日時・場所

日時	令和3年12月15日付け
場所	コロナウイルス感染拡大防止のため文書にて開催

## ● 参加者(文書返信のあった事業所・担当者) (順不同)

NO	所属(役職)	氏名
1	洛和会訪問看護ステーション桃山	無記名(看護師)
2	居宅介護支援事業所白寿	無記名(ケアマネジャー)
3	同和園居宅介護支援事業所	土田氏
4	ケアプランセンターおうばく	無記名(ケアマネジャー)
5	東宇治北地域包括支援センター	無記名
6	宇治病院ケアプランセンター	無記名(ケアマネジャー)
7	宇治病院訪問看護ステーション	無記名(看護師)
8	宇治徳洲会介護センター	無記名(ケアマネジャー)
9	宇治市介護保険課	矢野氏
10		
11		

## ● 議事

NO	議事内容(文書にて送付した内容)
1	サービス提供実施状況と事業の動向、上半期の振り返り
2	事例紹介(個人情報保護の観点からホームページ掲載においては削除)
3	ご意見交換・ご要望記入のお願い
4	

## サービス実施状況(令和3年4月1日~令和3年9月30日)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均
利用者数 (期間実人数 20名)		16	15	16	17	16	16	15.5
新規	新規利用者数	1	1	1	2	0	0	0.8
	相談経路 (担当居宅)	くらしの ハーモ ニ-居 宅:1	くらしの ハーモ ニ-居 宅:1	くらしの ハーモ ニ-居 宅:1	他法人居 宅:2			
終了	終了者数	2		1				0.7
	終了理由	死去:2		入院:1				

居住地域	木幡、六地藏、平尾台、五ヶ庄		
世帯状況	独居：14名 同居(老夫婦含む)：6名 ※独居のうち、サ高住：8名		
平均年齢	83歳	平均介護度	2.7 (前年度比-0.1)
男女比	男性：7名 女性：13名		
主な疾患や症状	パーキンソン病、糖尿病、心不全、腎不全、白内障・緑内障、前立腺肥大症、骨粗鬆症(転倒骨折)、終末期診断、K末期、廃用性症候群、幻覚妄想性障害、アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、不安障害、慢性関節リウマチ、痔核 等		
訪問看護利用者	定巡訪看：10名 医療訪看：3名 アセスメントのみ：8名		
デイサービス利用者数(平均)	7.7名	週あたりのデイ利用回数(平均)	1.5回
1日3回以上の定期訪問利用者数(平均)	3.3名	ショートステイ利用者(平均)	0名
主な利用ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼物忘れや生活行為遂行が不十分で、食事水分や内服、家事支援、安否確認等、生活全般の支援をして欲しい</li> <li>▼パーキンソン病で適切な内服が必要だが飲み忘れがあり、内服支援をして欲しい</li> <li>▼自宅で終末期を過ごすための厚いケア体制を整えたい</li> <li>▼急激な心身状態の変化で生活が乱れており改善したい</li> <li>▼転倒で起き上がれない、または転倒による骨折を繰り返しており、緊急時に対応してもらえる体制を整えたい</li> <li>▼1日4回以上の点眼の介助をして欲しい</li> <li>▼高齢な介護者の負担軽減のため、毎日移乗や排泄ケア等を提供欲しい</li> <li>▼家族も高齢となり世話に通うのが大変なため、負担軽減したい</li> <li>▼サ高住での新生活でどんな支援が継続的に必要かを見極めるため、生活状況のアセスメントをして欲しい</li> <li>▼突然の退院指示で正確な情報が得られず、退院直後の不安定期を支えつつ、心身状況・生活状況のアセスメントをして欲しい</li> </ul>		
主な定期訪問のサービス内容	起床就寝介助、排泄介助、陰部洗浄、更衣介助、移動・移乗介助、入浴介助、食事(弁当やレトルトなど)の温め、盛り付け、簡単な調理、配膳下膳、後片付け、洗濯、掃除、臨時の買い物、内服促しや確認、水分摂取促し、安否確認、戸締り、ごみ整理・ごみ出し、汚物処理、不安の傾聴、その他		

主な随時訪問のサービス内容 (緊急訪問以外)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援時体調不良の様子あり、後に臨時で状況確認</li> <li>・自分では冷暖房器具が操作できない</li> <li>・自分では窓が閉められず寒い</li> </ul>
緊急コール回数(月平均)	16.8回
緊急コール対応の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「不安で動悸がして息苦しいので助けて欲しい」</li> <li>・「排泄を失敗してしまってどうしたら良いか分からない」</li> <li>・「腰が痛くて動けないので助けて欲しい」</li> <li>・「転倒してしまって動けないので助けて欲しい」</li> <li>・「寝ている時に首にかけていたボタンを押してしまった」</li> <li>・「ベッドから落ちて動けないので助けて欲しい」</li> <li>・「口腔ケア時に誤って水を被ってしまいずぶ濡れ」</li> <li>・声は聞こえるが内容が聞き取れず、状況確認(誤報)</li> </ul>

### 《上半期の振り返り》

今年度のサービス提供の動向としては以下の通りです。

当事業所は令和3年1月からサービス提供4年目に入りました。昨年末より徐々にご利用者が増加し、今年度は上半期を通して15名以上のご利用者へサービスを提供しています。新規のご相談も年間を通して継続的にいただいております。特に今年度は、急な退院・自宅復帰への対応が多かった印象です。コロナ禍の影響か、病院で十分な退院カンファレンスを行えず(事前にご本人に面会する事ができず)、心身状況の詳細が不明なままサービス開始となる事も多くありました。また、コロナ禍で面会がし辛い事から、ご家族が自宅で看取る決意をされたケースも複数ご依頼をいただきました。

また、既に周知をさせていただいておりますが、当事業所は令和3年12月1日より訪問介護・定巡共に『ハーモニーやまはた』から移転し、サ高住『ハーモニー東風館』へ併設される事となりました。定巡は事業所名が『24時間サポートくらしのハーモニー』へ変更となりました。これを機に職員一同、気持ちを新たに、より一層皆様への支援に専心して参ります。

今後とも、宜しくお願い致します。

● 記録

各文書に対してのご意見

- ・いつもありがとうございます。ご利用者の状態を細かく確認。観察をしていただき体調の変化について大変助かっています。内服セットを当ステーションが行なっているのですが、それについてご希望などがありましたら内服管理を行う上で重要な事ですので、またお知らせ下さい。
- ・ご自宅で終末期を迎えたいというご本人の思いを尊重し支援していただいております。頻回な訪問で大変かと思いますが、最期まで支えていただければと思います。
- ・いつもお世話になっております。ご本人の状態に応じて適宜ご対応をいただきありがたく思っています。能力を見極めての対応も依存とならない支援となり、生活の継続へ繋がっているのかと思われま。
- ・服薬など、毎日の支援が必要な方の第一選択肢としています。訪問介護との併用が出来ないので定巡か？訪問介護か？で悩みます。貴重な社会資源と考えますので、対象となるご利用者の幅がもっと広がればと思います。コロナ禍が落ち着けばケアマネジャーと事例検討、共有できる機会が持てればと思います。ご利用者、ご家族からは薬が飲める、毎日気に掛けてもらえる等の良い意見をいただいております。
- ・1日に複数回訪問ができるところが定巡サービスの強みかと思えます。事例のご利用者の場合、別居していたご家族が泊まり込んで介護をされていたという事で、ご家族の負担軽減を図れたのではないかと思います。ご家族を含めての支援の結果、安心感を感じて頂けている事が素晴らしいと思います。定巡サービスは宇治市内に事業所も少なく、東宇治北圏域では貴事業所に定巡サービス導入の相談をさせていただく事が今後もあると思えますので、どうぞよろしくお願い致します。
- ・この度は、大変な癌末期のご利用者で結果的には僅か数日のご利用となりましたが、快く対応をいただき、ありがとうございました。定巡サービスは初めて利用させていただき、分からない事だらけでご迷惑をおかけした事と思えます。実際利用してみると、状態により事業所側にて提供時間が決められており、正直思っていたよりもタイトな時間で驚きました。もう少し長い時間で提案いただけるといういなあとは思えます。
- ・いつもお世話になりありがとうございます。今回、初めて貴事業所の定巡サービスを利用させていただく事になりました。分からない事ばかりで質問に対しても親切丁寧に対応していただき、本当にありがとうございます。ご利用者、ご家族からは今ところ、ご意見をいただく事はありますが、何かあれば対応していただける安心感があり、喜んでおられます。
- ・新型コロナの影響により、自宅で看取るケースが増えている状況がうかがえます。その中で定巡サービスの重要性が高まっている事がわかります。コロナ禍において、大変な状況が続いていますが、今後も住み慣れた地域で暮らし続けられるようにご協力をお願い致します。

議事録作成

中村 陽

以上